

ホセア書 4 章 1 節から 6 章 11 節 真の神に対する偽りの礼拝

今日は、ホセア書の 4 章から 6 章までを取り上げていきましょう。わたしたちはまことの神を礼拝しています。ですから、今日とり上げる預言の中に自分自身のことが描かれている、などとは思わないでしょう。しかし、今日の聖書箇所では、真の神を礼拝していると信じながら、実際には偽りの礼拝をしている人々に対して、悔い改めを求めているようです。この内容は、神を礼拝していると主張する今日の教会やクリスチャンに対しても、当てはまるものがたくさんあるのです。今日の聖書箇所も神の裁きの言葉から始まります。これまでお読みしたホセア書の中に見られたものと似ています。4 章 1 節 **イスラエルの子らよ、主のことばを聞け。主はこの地に住む者を訴えられる。この地には真実もなく、誠実さもなく、神を知ることもないからだ。2 呪いと、欺きと、人殺しと、盗みと、姦通がはびこり、流血に流血が続いている。**北イスラエル王国の人々の罪は、社会が道徳的に崩壊するところまで進んでしまいました。ホセア書 2 章 19 節を読むと、神はご自分の民に揺るぎない愛を持っておられます。19 **わたしは永遠に、あなたと契りを結ぶ。義とさばきと、恵みとあわれみをもって、あなたと契りを結ぶ。**とあります。ところが、北イスラエル王国は、神や他者に対する確固とした愛を持っていないのです。人々は神や真の神についてすっかり忘れてしまいました。彼らの社会には信用できない人間が溢れかえっていました。まさに、ホセア書 4 章 2 節に書かれている誓いについての言及がそれです。彼らは誓いを立てたり、約束をしたりして、それを破り、嘘をつくのです。彼らの社会がいかに暴力的になっているのかもわかります。でも、ここに描かれている事は、現代の世界にも当てはまります。ある意味、日本はこうした文化的影響からかなり守られてきました。しかし、少し考えてみましょう。真の神についての知識は消えてしまいました。神の言葉に啓示されたイエス・キリストに従う福音的なクリスチャンは、日本全国で人口の 1%にも満たないものです。つまり、真の神についての知識は失われているのです。しかも、それは日本のことばかりではありません。それは、西洋の多くの地域でも同じなのです。アメリカやヨーロッパなどには、クリスチャンだと主張する人はたくさんいます。さて、彼らに神は三位一体として存在するのか.....といった神についてのごく基本的な質問をします。あるいは、教会の礼拝に出席するというような信仰への試練を与えます。すると、質問に答えられるクリスチャン、礼拝に出席するクリスチャンの数は激減します。このことは、イエスを信じると主張しても、神を本当には知らない人々が多い、ということを示しています。しかし、実はこの状態について最も非難されるべき者は、真の神を知っていると主張する者たちなのである。今日の聖書箇所を読み進めていくと、そのように書かれているのです。この点こそが、これまでのホセア書に見られる告発とは異なります。ホセア書 4 章の 4 節から 7 節を見てください。4 **「だれも口論してはならない。だれも人を責めてはならない。あなたの民は、祭司と口論する者のようだ。5 あなたは昼つまずき、預言者も、あなたとともに夜つまずく。わたしはあなたの母を滅ぼす。6 わたしの民は知識がないので滅ぼされる。あなたが知識を退けたので、わたしもあなたを退け、わたしの祭司としない。あなたがあなたの神のおしえを忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れる。7 彼らは増えるにしたがって、ますますわたしに罪を犯した。わたしは彼らの栄光を恥に変える。**今お読みした聖句は、祭司と預言者、言い換えれば宗教指導者を非難しています。宗教指導者たちは、人々の罪の責任の多くを負っているのです。彼らは人々を神のもとに導くべき人々である。ところが彼らは、かえって人々を神から遠ざけてしまったのです。実際、こうした宗教指導者について、ホセア書 4 章 7 節では**彼らは増えるにしたがって**罪が増える、と語っています。北イスラエル王国は建国当初から、ヤロブアム王一世が神に偽りの礼拝を捧げていました。彼は、その偽りの礼拝を導く祭司やその他の宗教指導者がいると主張していました。列王記 第一 12 章 28 節から 31 節にはこう書かれています。28 **そこで王は相談して金の子牛を二つ造り、彼らに言った。「もうエルサレムに上る必要はない。イスラエルよ。ここに、あなたをエジプトから連れ上った、あなたの神々がおられる。」**29 **それから彼は一つをベテルに据え、もう一つをダンに置いた。**30 **このことは罪となった。民はこの一つを礼拝するためダンまで行った。**31 **それから彼は高き所の宮を造り、レビの子孫でない一般の民の中から祭司を任命した。**イスラエルの民がイスラエル王国を去った歴史を知っている人ならば、この話は聞いたことがあるでしょう。モーセが神と直接に語り合い、神から十戒を授かっていたその時、モーセの兄アロンは民を率いて金の子牛を作り、民を礼拝させました。皆さんは、ちょっとひねくれた感覚で理解する必要があります。つまり、イスラエルの民は、自分たちをエジプトから導いてくれた同じ神を礼拝していると信じていた。彼らはただ、その神を象徴するものが欲しかった。その神の象徴が金の子牛だった、ということなのです。この金の子牛

を礼拝するカルトは、実際には消滅することはありませんでした。南ユダ王国との分裂後、北イスラエル王国で復活しました。南ユダとの分裂後、人々が北イスラエル王国を離れて南ユダ王国で礼拝するのを防ぐために復活したのです。金の子牛を礼拝することが、真の神を礼拝する真の方法だ。宗教指導者や王は、民に対して、このように説得したのです。

つまり、宗教指導者たちが、真の神に対する偽りの礼拝へと民衆を導いたのです。しかし、聖書的な礼拝であると主張したその偽りの礼拝は、それだけでは終わりませんでした。人々は、真の神に対する偽りの礼拝にとどまるどころか、偶像礼拝に突き進んでいきました。ホセア書 4 章 12 節にはこう書かれています。12 わたしの民は木に伺いを立て、棒が彼らに事を告げる。これは、姦淫の霊が彼らを迷わせ、彼らが自分の神のもとを離れて、姦淫したからだ。彼らは霊的な方向性を尋ね求めるために、あらゆる種類の無生物に向かいました。聖書の神を拒絶する時代であっても、人々は霊的であることを止めませんでした。彼らは霊的な方向性を神に求めることを止めただけなのです。今日、人々が霊的でなくなったわけではありません。人々は、霊的なつながりや方向性を見出すための本当に適切な場所を、探していないだけなのです。クリスチャンだと自称する人々の中にも、霊的な答えを、神の言葉をとおした神との関係とは違うものに求める人々がいます。そんな人々は占い師のところに行きます。あるいは、ある種の力があると信じられている特別な水晶を持ちます。「不吉だから」という理由で特定の数字を避ける。このことも、真の神をとおしてではなく、何か無生物的な概念をとおして悪を避けようとする一種のスピリチュアルな考え方です。クリスチャンでない人がこうしたことをする場合、それは単に、彼らが神を知らないことを示します。しかし、キリストを信じる人々がこうしたことをする場合、このことは、彼らが本当にキリストを礼拝していないことを示します。今日の聖書個所に描かれた人々は、宗教指導者たちから、自分たちは神を礼拝していると言われながら、偽りの礼拝をしていたのです。

この偽りの礼拝の一環として、彼らは神への礼拝をやりやすくしました。その結果、かえって偽りの礼拝をするようになりました。ホセア書 4 章 13 節を見てみましょう。13 彼らは山々の頂でいけにえを献げ、丘の上で犠牲を供える。樅の木、ポプラ、テレビンの木の下で。その木陰が心地よいかからだ。それで、あなたがたの娘は淫行をし、あなたがたの嫁は姦通をする。当時の人々は、エルサレムまで行って、神が適切な方法で礼拝する場所として用意してくださった神殿で礼拝するのは、とても不便でした。彼らにとって、金の子牛のある偽りの礼拝所に行くのは、もっと不便でした。そこで、彼らは、日陰で快適な場所で礼拝することにしましたのです。その場所は、神が意図した場所ではありません。しかし、彼らにとって、自然のエアコンが効いた場所でした。神の御心に反しているにもかかわらず、そこが彼らの礼拝の場所となりました。今日、このような礼拝をしている人はたくさんいます。そんなふうに礼拝してもいいですよ、と奨励している教会さえあります。教会で礼拝を捧げることがあまりに不便ならば、実際に教会に集まらなくてもよいですよ。ただ家にいて、ソファでライブストリームを見ればいいですよ。ライブストリーム礼拝で聖餐式も可能です。自分の飲み物とパンを用意して、オンラインで参加するだけでよいのですから。わたしたちの礼拝は、わたしたちの神と、イエス・キリスト、すなわちキリストの教会であるわたしたちを贖うために十字架上で死なれたイエス・キリストに、栄光を帰すことに焦点を当てます。ところが、彼らの礼拝は、自分たちの都合の良さに焦点を当ててしまっています。イエス・キリストの生涯も死も、便利で簡単なものではありませんでした。わたしたちは、イエス・キリストを礼拝するために最低限のことでもすれば、キリストは受け入れてくれるだろう、と考えています。毎週日曜日、ここ YIBC に集うキリストの体に心から感謝します。わたしは、この共同体に起こった変化を思い起こします。その変化は簡単なものではありませんでした。この 3 年間、礼拝をバイリンガルにしたことで、わたしたちの礼拝が他の多くの教会よりも長くなってしまいました……。わたしたちの建物は、特に公共交通機関で最も便利な場所にあるわけでも、現代の基準で最も快適な場所にあるわけでもありません。それなのに、神は、神の御言葉を囲んで礼拝するために、キリストにあって共に成長するために、聖日ごとにわたしたちを集めて下さいます。そして、あなた方が信仰をお持ちになり、個人的な欲望や安楽を捨てて、集まって礼拝を捧げようとしてくださることに、わたしは心から感謝しています。

わたしは、もうひとり、神がこの偽りの礼拝という罪の責任を問う指導者として、指摘したい者がいます。それは男性です。神は家庭や社会のリーダーである男たちを呼び出されるのです。このこ

とについて、ここではホセア書4章14節を見てみると良いと思います。14 わたしは、あなたがたの娘が姦淫をしても、あなたがたの嫁が姦通をしても、罰しない。男たちは遊女とともに離れ去り、神殿娼婦とともにいけにえを献げている。悟ることのない民は滅びに落ちる。現代社会でも、ここに書かれている振る舞いをする女性を非難し、見下すことは、しばしばあります。しかし本当は、この罪深い行為を求めた男性側に、罪の責任があります。今日、どの社会にも性的な罪が蔓延しています。男性側に罪の責任があることに変わりありません。女の子がメイド喫茶やえげつない風俗の勧誘を積極的に行っている。そんな女の子に対して、見下すことは簡単です。しかし、こうした業界に社会的な力と存在感を与えているのは誰か。彼女たちの顧客である。このことを見ようとしません。

ホセア書の5章に入ると、神は、今度は祭司たち自身を罰すること、つまり、偽りの礼拝に対する偽りの宗教指導者たちを罰することを約束されます。ホセア書5章1節を見ましょう。1 祭司たちよ、これを聞け。イスラエルの家よ、心せよ。王の家よ、耳を傾けよ。あなたがたにさばきが下る。あなたがたはミツパで畏となり、タボルの上に張られた網となったからだ。5章は続けて、神がすべての民を罰することを示されます。神は、北イスラエル王国の最も重要な部族であるエフライム部族の名を用いて、国の指導者たちを表しています。しかし、ここで目を向けることがあります。神がこのように裁くという約束の中で、以前はこの裁きの約束から特に除外されていた南ユダ王国が、ここには含まれていることです。ホセア書1章7節は言います。7 しかし、わたしはユダの家をあわれみ、彼らの神、主として、彼らを救う。ただし、弓、剣、戦い、あるいは馬、騎兵によって救うのではない。それではホセア書5章5節を見ましょう。5 イスラエルの高慢はその顔に表れている。イスラエルとエフライムは、自分の不義につまずき、ユダも彼らとともにつまずく。偽りの礼拝、偽りのキリスト教の危険性というものは、神に従っている人々を惑わして、巧妙に欺いて、偽りの礼拝に陥れてしまうことです。南ユダ王国の人々には神殿と真理がありました。歴史を通して、彼らには、真の神に対する礼拝を指し示す指導者がいました。にもかかわらず、彼らはイスラエルの偽りの礼拝に誘惑されました。わたしたちは偽りの礼拝に対して常に警戒しなければなりません。偽りの礼拝とは、神を真に礼拝している者を、聖書から遠ざける礼拝です。聖書は礼拝における唯一にして真の土台です。ホセア書5章8節では、南ユダ王国の中で、北イスラエル王国に最も近い2つの町に向かって、警戒せよ、と神が警告しています。ベニヤミン族のこれらの町々は、イスラエルの罪深い影響を排除するために、特に警戒することになりました。ホセア書5章8節にはこう書かれています。8 ギブアで角笛を、ラマでラッパを吹き鳴らせ。ベテ・アベンでときの声をあげよ。ベニヤミンよ、うしろを警戒せよ。宗教指導者が偽りの礼拝をおこなわせた責任、個人が自分自身の必要性を満たすための安易な礼拝を求めた責任、わたしたちを神から引き離す他の偽りの礼拝をおこなった責任、ホセア書1章に描かれているような男たちが女たちにしたことに対する責任、このように、罪の責任が誰にあるとも、神は、わたしたち全員に対して、偽りの礼拝をおこなったことを裁きますし、その責任を負わせます。わたしたちは一貫して自分の心を守り、教会を偽りの礼拝から守らなければならないのです！

ホセア書6章に入ると、引き続き、北イスラエル王国と南ユダ王国の罪が裁かれるために告発されます。しかし同時に、悔い改めと心の変化も見られます。これは、偽りの礼拝に対する解決策なのです。ホセア書には突然の転換がある。ホセア書の最初の説教で、わたしはそう申し上げました。この6章1節から3節がその一つにあたります。聖霊は、ホセアをとおして裁きについて語るときに、ホセアに悔い改めの祈りを導きます。そして、人々に、このホセアの悔い改めに加わるよう求めているのです。1 さあ、主に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、癒やし、私たちを打ったが、包んでくださるからだ。2 主は二日の後に私たちを生き返らせ、三日目に立ち上がらせてくださる。私たちは御前に生きる。3 私たちは知ろう。主を知ることが切に追い求めよう。主は暁のように確かに現れ、大雨のように私たちのところに来られる。地を潤す、後の雨のように。この「立ち返る」という言葉は、ハッキリと悔い改めを示す言葉です。悔い改めとは、罪から離れること、神に振り向くこと、つまり「立ち返る」ことを意味します。そして、わたしたちが悔い改めるとき、2つのことが起こります。その第1番目は癒しです。わたしたちが罪を悔い改めます。すると、神はわたしたちの罪をいやし、罪の呪いから救い、罪を赦して下さいます。使徒の働き3章19節は、この癒しについて示しています。19 ですから、悔い改めて神に立ち返りなさい。そうすれば、あなたがたの罪はぬぐい去られます。その第2番目は、新しい命をもたらすことです。ホセア書6章2節には、神は私たちを

「生き返らせる」と書かれています。コリント人への手紙第二 5章17節にはこう書かれています。17 ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。しかし、ホセアはわたしたちを三日目に復活させると言っている。このことに注目して下さい。これは、わたしたちがどのようにして新しい命を受けるかを明確に示しています。新しい命は、わたしたちの罪のために死んだ後、三日目に復活するメシアによってもたらされるのです。コリント人への手紙第一 15章4節にはこう書かれています。4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、三日目の復活。この考えを明確にしている箇所は、旧約聖書には他にありません。だから、この箇所はイエス・キリストを指し示しているに違いありません。悔い改め。これは、わたしたちの罪と神の怒りに対する唯一の解決策です。悔い改めは、罪からの癒しとキリストの死と復活による新しい命をもたらします。しかし、この悔い改めは、たった一回だけ罪から神に立ち返ったらすべて完了ではありません。この箇所に書かれている救いの真理とは、生涯、キリストの弟子として従い、成長していくことです。ホセア書6章3節にはこう書かれています。3 私たちは知ろう。主を知ることが切に追い求めよう。わたしたちは、偽りの礼拝に対して、どのように身を守るのでしょうか？わたしたちは絶えず神を尋ね求めていくのです。イエス・キリストとの関係を深めていくのです。わたしたちは、神の言葉を絶えず自分の心と生活に適用していくのです。このようにして絶えず神を尋ね求めるのです。そして、このようにしてイエス・キリストとの関係を深めていくのです。クリスチャンの生活とは、イエス・キリストの弟子として成長することなのです。もし、わたしたちが、日常生活の中で神の言葉を吟味して適用していくことがないならば、わたしたちは単にキリスト教の儀式を行っているだけです。おそらく、わたしたちは本当にキリストに従っていません。

真の救いには悔い改めが必要です。ホセア書6章6節にも書かれています。さらに、単なる宗教的儀式をやるのではなく、心に変化していくことも必要です。6 わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない。全焼のささげ物よりむしろ、神を知ることである。もし、あなたにとってのキリスト教が、教会に来ること、聖餐式を受けること、正しい祈りを捧げること、あるいはキリストをより深く知るためにキリストに心から従うこととは違うことだとします。あなたはキリストを本当に知っているとは言えないかもしれません。他のことはすべて、キリストを知るという目的を達成するための手段である、とするならば、良いことになるのです。わたしが恐れていることは、わたしたちが目にしたくないところで、誤った教えやキリスト教の誤った理解が多くなされていることです。信者が救われるために秘跡制度を信頼するように信者を導く教会があります。三位一体のような重要な教義を否定する教会があります。彼らの言葉を借りれば、LGBTQコミュニティを "肯定 "している教会があります。それはローマ人への手紙1章26節で言うところの「恥ずべき情欲」を肯定していることを意味します。クリスチャンとは何者なのか、わたしたちをとおして伝わるメッセージに注意を払わなければ、人々を間違った礼拝に導くことになりかねません。わたしたちが、ある人の信仰を十分に吟味せず、すぐにバプテスマを授けてしまい、その信仰の証に承認印を押してしまう。すると、人々を間違った礼拝に導くことになりかねません。あるいは、キリストを信じる人々がいる。だから教会のメンバーになっても問題はない。ところが、聖書が明確にしている出席という最も基本的な点において、教会に出席しない。その人と教会との関係がまったくない。そんな人の存在も、人々を間違った礼拝に導くことになりかねません。ヘブル人への手紙 10章25節にはこう書かれています。25 ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合ひましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。イエス・キリストは主であり救い主である。わたしたちはこの真の知識を伝える代わりに、人々を偽りの礼拝へと導くことができるのです。神を真に礼拝するとはどういうことなのか。このことについて、わたしたちが明確で確固たる者であるように、神が助けて下さいますように。

祈りましょう。

Hosea 4:1-6:11 False Worship of the True God

Today we are going to cover chapter 4 through chapter 6 of Hosea. It is easy sometimes to not see ourselves in these prophecies because we worship the true God. But here in these two chapters, it seems to call to repentance those who believe they are worshipping the true God while actually involved in false worship. So, there is much that is applicable to churches and Christians today who claim to worship God. This passage starts out with what seems to be very similar judgement that God has made throughout the verses of Hosea so far. **4 Hear the word of the LORD, O children of Israel, for the LORD has a controversy with the inhabitants of the land. There is no faithfulness or steadfast love, and no knowledge of God in the land; 2 there is swearing, lying, murder, stealing, and committing adultery; they break all bounds, and bloodshed follows bloodshed.** Their sin has progressed to the point where society has fallen apart morally. Whereas God has steadfast love for his people in chapter 2, verse 19 where God says, **19 And I will betroth you to me forever. I will betroth you to me in righteousness and in justice, in steadfast love and in mercy,** the nation of Israel has no steadfast love for God or others. People have completely forgotten about God or about the true God. Society has become full of people that cannot be trusted. That is what verse 2 is talking about with swearing. They swear vows or make promises and then break them, so they lie. We also see how this society has become violent. Now, does this sound like our modern day world. In some ways Japan has been protected from some of these cultural influences to a great extent, but let's think about it. The knowledge of the true God has disappeared. There are fewer than 1% of the population who are evangelical Christians in the entire country of Japan who follow Jesus Christ as revealed in the Word of God. So, the knowledge of the true God is missing, and it is not just Japan. It is the same in many places in the Western part of the world as well. While there are many who claim to be Christians in places like the United States and areas of Europe, when you begin to ask them very basic questions about God, like does he exist as a Trinity... or put any test to their faith like church attendance, those numbers shrink drastically, and show that many who claim Jesus do not truly know God. But it is those who claim to know the true God that actually God blames most for this condition as we continue this passage. And this is why these accusations are different than the others that have been made. Look at verses 4-7 of Hosea 4. **4 Yet let no one contend, and let none accuse, for with you is my contention, O priest. 5 You shall stumble by day; the prophet also shall stumble with you by night; and I will destroy your mother. 6 My people are destroyed for lack of knowledge; because you have rejected knowledge, I reject you from being a priest to me. And since you have forgotten the law of your God, I also will forget your children. 7 The more they increased, the more they sinned against me; I will change their glory into shame.**

These verses are calling out the priests and prophets, in other words the religious leaders. **Religious leaders share much of the blame for the sin of the people.** These are the people who were supposed to be leading people to God and instead were leading people away from God. In fact verse 7 is telling us that the more religious leaders there were, **the more they increased**, the more sin happened. From the very beginning of the nation of Israel, King Jeroboam¹ had set up false worship to God, but still claimed to have priests and other religious leaders who led in that worship. **1Kings 12:28-31 says, 28 So the king took counsel and made two calves of gold. And he said to the people, "You have gone up to Jerusalem long enough. Behold your gods, O Israel, who brought you up out of the land of Egypt." ... Then verse 31. ³¹ He also made temples on high places and appointed priests from among all the people, who were not of the Levites.** If you are familiar with the history of the people of Israel leaving Israel this will sound familiar. While Moses was talking directly to God receiving the 10 Commandments, Aaron, Moses's brother led the people to

make a golden calf to worship. You need to understand, in a warped sense, the people of Israel believed they were worshipping the same God who was leading them out of Egypt, they just wanted some sort of representation of him, which was this calf. This Golden Calf worshipping cult never really died out and was resurrected in the nation of Israel after the split with Judah in the South in order to keep people from leaving the North to worship in the South. The people were persuaded by the religious leaders and king that this was the true way to worship the true God.

So these religious leaders were leading the people into false worship of the true God, but that false worship that still claimed to be Biblical worship did not end there. The people did not stay with the false worship of the true God, but went further in their idolatry. **Verse 12 of Hosea 4 says, 12My people inquire of a piece of wood, and their walking staff gives them oracles.** They went to all sort of inanimate objects to seek spiritual direction. Even in an age of rejection of the God of the Bible, they did not stop being spiritual, they just stopped looking to God for that spiritual direction. Today, people are not less spiritual, they are just not looking in the right place to find true spiritual connection and direction. There are those who even claim to be Christians who will seek spiritual answers outside of their relationship with God as discovered through the Word of God. They may even go to fortune tellers or have special crystals that are believed to have some sort of power. Even things like avoiding certain numbers because of “bad luck” is a sort of spiritual mindset of seeking to avoid evil not through God, but through some inanimate concept. When those who are not Christians do these things, it simply demonstrates their lack of knowledge of God. But when those who claim Christ do these things, it demonstrates that they are not truly worshipping Christ. These were the people of God who were doing these things while still being told by their religious leaders that they were worshipping God.

As part of this false worship, **they had sought to make their worship of God convenient which had actually led to it being false.** Look at verse 13. **13They sacrifice on the tops of the mountains and burn offerings on the hills, under oak, poplar, and terebinth, because their shade is good.** It was very inconvenient to go to Jerusalem and worship at the temple where God had provided a place for them to worship in a proper way. It was even inconvenient to go to places of false worship with the golden calves. So, they decided to worship where the shade was good, where it was comfortable. It was not where God intended, but it was where their version of air conditioning was available, and that became their place of worship even though it went against God’s will. There a lot of people doing this today, and even churches encouraging it. Don’t worry about actually gathering with the church if it is too inconvenient. Just stay home and watch the livestream on your couch. You can even take communion, just get your own drink and some bread and join in online. We have made worship a matter of our own convenience instead of the focus being on bringing glory to our God and to Jesus Christ who died on a cross in order to redeem us as his church. Nothing about the life or death of Jesus Christ was convenient or easy, but we think that doing the bare minimum to worship him is acceptable. I am so thankful for the Body of Christ that gathers each Sunday here at YIBC. I know that the changes that have taken place in our gathering are not easy, that becoming bilingual in our worship over the last 3 years has made our services longer than many other churches... that our building is not in the most convenient location, especially by public transit or the most comfortable by modern standards. And yet God brings together his church each Lord’s Day to worship and grow together in Christ around the Word of God. And I am so thankful for your faithfulness, and willingness to put aside personal desires and ease to gather and worship.

I want to point out one other specific set of leaders that God holds accountable for this sin. It is the men. **He calls out the men as leaders in families and society.** I've skipped some verses with stronger language in this passage, but it is worth looking at verse 14 where we see this. **14 I will not punish your daughters when they play the whore, nor your brides when they commit adultery; for the men themselves go aside with prostitutes and sacrifice with cult prostitutes...** Many times even in today's society, it's very easy to blame and look down on a woman who acts like the women were in this verse. But the truth is that there is blame for the sin on the part of the men who were seeking this sinful activity. I would say this same idea applies with the sexual sins that are rampant in every society, today. It's easy to look down on the girls who actively solicit for maid cafés and even worse forms of entertainment, but not see that it is their customers who really give the industry its power and presence in society.

As we move into Chapter 5, God now promises punishment for that false worship starting with the priests themselves, these false religious leaders. Look at **Hosea 5:1, 5 Hear this, O priests! Pay attention, O house of Israel! Give ear, O house of the king! For the judgment is for you; for you have been a snare at Mizpah and a net spread upon Tabor.** And as chapter 5 continues God lays out the punishment for all of the people. He uses the name of the Tribe of Ephraim, the most important tribe of the Northern Kingdom of Israel to represent the leadership of the nation. But something else to see in this promised judgment is the now the inclusion of the nation of Judah that was specifically excluded from earlier promises of judgement. **Hosea 1:7 said, 7 But I will have mercy on the house of Judah, and I will save them by the Lord their God.** But now look at **Hosea 5:5, The pride of Israel testifies to his face; Israel and Ephraim shall stumble in his guilt; Judah also shall stumble with them.** The danger of false worship, of false Christianity, if you will, is that it can mislead and subtly deceive those who are following God into a false worship. The people of Judah had the temple and the truth. Throughout their history, they had leadership that pointed them to the true worship of God. And yet, they were seduced into Israel's false worship. We must be always on guard against false worship that can lead true worshippers of God away from the Bible, the Word of God as the only true foundation for our worship. So, in verse 8 God warns the two closest Judean cities to Israel to be on guard. These cities of the tribe of Benjamin were supposed to be especially watchful to keep out the sinful influences of Israel. **Hosea 5: 8 says, 8 Blow the horn in Gibeah, the trumpet in Ramah. Sound the alarm at Beth-aven; we follow you, O Benjamin!** Whether it is the authority of Religious leaders, or the comfort of easy worship that is about meeting my needs, or some other false worship that pulls us away from God, even if someone else is in part responsible for our sin like the men towards the women in chapter 1, God will hold us all accountable for how we worship him. We must consistently guard our hearts and guard our church against false worship!

As we move into Chapter 6, Israel and now Judah's sins continue to be called out for judgement, but we also see the solution for false worship which is repentance and heart change. Remember in the first sermon in Hosea, I said there were these abrupt shifts in this book and chapter 6, verses 1-3 is one of those. In the middle of talking about judgement, the Holy Spirit speaking through Hosea leads Hosea to pray this prayer of repentance that asks the people to join him in this time of repentance. **6"Come, let us return to the LORD; for he has torn us, that he may heal us; he has struck us down, and he will bind us up. 2After two days he will revive us; on the third day he will raise us up, that we may live before him. 3Let us know; let us press on to know the LORD; his going out is sure as the dawn; he will come to us as the showers, as the spring rains that water the earth."** That word "return" is a clear word showing repentance. Repentance means to turn

away from sin and turn or “**return**” to God. And two things happen when we repent. Healing, number 1. God will heal us from our sins, save us from the curse of our sins and forgive us for them when we repent of them. [Acts 3:19](#) shows this healing that happens. [19 Repent therefore, and turn back, that your sins may be blotted out...](#) Secondly, repentance brings new life. Verse 2 says God will “**revive us.**” [2Corinthians 5:17](#) says, [17 Therefore, if anyone is in Christ, he is a new creation. The old has passed away; behold, the new has come.](#) But notice he says he will revive us specifically on the third day. This is a clear reference to how we will receive new life. It will come through a resurrected Messiah who comes back to life on the third day after dying for our sins. [1Corinthians 15:4](#) says, [4 that he was buried, that he was raised on the third day in accordance with the Scriptures...](#) There is no other place in the Old Testament that makes this idea of a resurrection on the third day clear, so it must be referencing this passage as pointing us to Jesus Christ. The only solution for our sins and for God’s wrath is repentance, which brings healing from sin and new life in Christ, because of his death and resurrection. But pictured in this passage on repentance is more truth about salvation is that it is not just a one time turning away from sin, but a lifetime of following and growing as a disciple. See what verse 3 says, [3Let us know; let us press on to know the LORD;](#) How do we protect from false worship? We continually seek to know God, to grow in our relationship with Jesus Christ. We do that through a constant application of the Word of God to our hearts and lives. The Christian life is one marked by growing as a disciple of Jesus Christ. If that is not present in our life, the perhaps we are simply doing Christian rituals and not truly following Christ.

This is also addressed in chapter 6 verse 6 that true salvation involves repentance, but also heart change, not simply religious rituals. [6For I desire steadfast love and not sacrifice, the knowledge of God rather than burnt offerings.](#) If your Christianity is about coming to church, taking a sacrament, saying the right prayer or anything else other than truly following Christ in order to know him more, then you may not truly know Christ. All of those other things are good, but only in that they are a means to an end which is knowing Christ. I’m afraid that even where we may not see it, there is much false teaching or false understanding of Christianity happening that can lead to this result. Churches that lead followers to trust in sacramental systems for salvation. Churches that deny key doctrines like the Trinity. Churches that have, to use their own terms, “affirmed” the LGBTQ community, which means they have affirmed what [Romans 1:26](#) calls “[dishonorable passions.](#)” If we aren’t careful in the message we send about what it means to a Christian we may mislead people into false worship. If we are too quick to baptize someone and put our seal of approval on their testimony of faith, when we haven’t fully examined their faith. Or let people who claim Christ think it is okay to be a member of a church, but have no relationship with the church in the most basic way of attendance even though Scripture is clear on the matter. [Hebrews 10:25](#) says, [25 not neglecting to meet together, as is the habit of some, but encouraging one another, and all the more as you see the Day drawing near.](#) In all these ways and more, we can lead people to false worship, instead of the true knowledge of Jesus Christ as their Lord and Savior. May God help us to be clear and firm on what it means to truly worship our God. Let’s pray.